

浄信寺通信

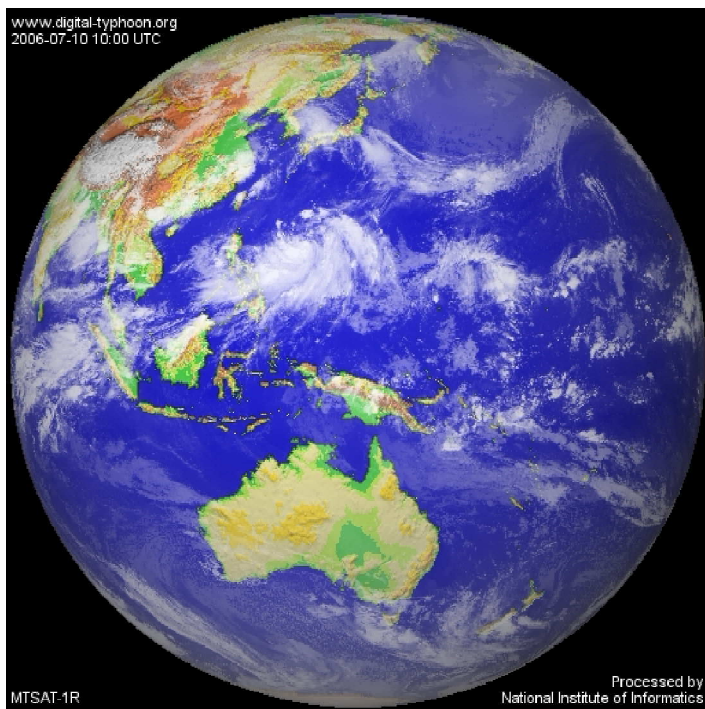
平成18年夏号

名古屋市中村区名駅五丁目二〇番三
宗教法人浄信寺収益事業部羽塚孝和
TEL (〇五二) 五六一一七三六
頒布価格年 千三百円
(檀信徒会費)

「善」と「悪」とを越えて

浄信寺候補衆徒 羽塚高照

ここに、宇宙関連ウェブに掲載された一枚の写真があります。宇宙に浮かんでいる青い星が写っています。そう私たちのいる地球です。



さて、この写真を見て、あなたは何を思いますか。
「地球は青い水と空気に囲まれた美しい星だ。この地球の美しさは、私たちの手で守らなくてはいいない。」
このような思いは誰もが抱くものではないでしょうか。誰も何の反論もできない、至極まっとうな意見です。

でも、ちょっと待ってください。もう少し立ち止まって、想像力をはたらかせてみましょう。まず、その写真はいったいどうやって撮られたのでしょうか。そこでは何が起きているのでしょうか。

間違いなくその写真は、有人であれ無人であれ、地球から宇宙空間へと打ち上げられたロケットから撮られています。外部から地球を撮影するために、一体どれほどの燃料が必要であるかを想像してみてください。

また、例えば、「宇宙に人工物を打ち上げることは善か悪か」という問い。あるいは、極端なことを言わせてもらえば、「宇宙を『開発』するその費用を全部、地球の環境のために使えば、その思いはどれほどかなえられるのか」という問い。このような問いは、「科学的」「人類進歩」というスローガンの前では、何の効果ももたない「愚問」として扱われるでしょう。

確かに、科学技術の進歩は、私たちの生活に様々な恩恵を与えています。いま私も、電灯のしたで

平和公園墓参のご案内

日時： 8月12日（土）
13日（日）

：午前8時頃～午後1時頃

扇風機にあたりながら、パソコンのキーボードをたたき、液晶の画面に文字を表示させてこの原稿をつくっています。そしてつくり終えれば、それを電子メールで就職に送るつもりです。

と同時に、そうすることで私たちは、決して越えてはいけない敷居を、知らず知らずのうちに踏み越えてしまっているのではないのでしょうか。決して目にすることが

できなかったものを目にした瞬間、それは、決して越えてはいけなかった境界線を越えてしまった瞬間なのではないでしょうか。いま、私たちに与えられているこの世界は、必ずしも自分たちがその意思で獲得したものと言いつけるでしょうか。一個人の思いや葛藤は、ささやかな想像力や善悪の判断は、得体の知れない怪物に飲み込まれていくのでしょうか。

※

人類は、かつてなかったような

【災害時は助け合い ネズミと蛙】



六月三〇日、豪雨が続き、洪水による被害が出ているインド北部のラクノーでは、カエルの背中に乗って避難するネズミの姿が見られた（2006年DITA-/Pawan Kumar）yahoo写真ニュースより引用

歩幅で、かつては想像もできなかった境界線を次々に飛び越そうとしています。遺伝子工学の進展によるクローン技術とか、遺伝子組み換え食品とか、ES細胞を使った再生医療とか、ヒトゲノム解析とか、臓器移植とか、人工臓器とか。そこから見える眺めは素晴らしく、その景色を知らなかったときのことなど、きつとすぐに忘れ去られてしまうでしょう。

暴力的ともいえる犠牲の上で撮

影された写真を手にしたときの「地球は美しい」という言葉には、人間の傲慢さをどこかに置き去りにしたまま、それを覆い隠してしまう危険性ははらんでいるように思われます。問いかけること、自分で考えてみることに、立ち止まること、振り返ること。いま私たちは自分たちの足元を思っでやうてきたことが、とんでもない愚行であったと気付かされる瞬間。それは、すこし大げさに敷衍（意味をおしひろげて説明する）して言い換えれば、人間が積み上げてきたものがガラガラを音を立てて崩れていく、そんな瞬間の経験です。

※

最古の仏教經典の一つとも言われ、今もスリランカや東南アジアに、パーリという言語で伝わっている『ダンマ・パダ』という經典に、次のような一連の詩句があります。

「私を罵った」

「私を傷つけた」

「私を打ち負かした」

「私の物を奪い去った」

と、このような思いに縛り付けられているならば、その人たちにとって、怨みは静まることはない。

「私を罵った」「私を傷つけた」「私を打ち負かした」「私の物を奪い去った」、とこのような思いに縛り付けられていないならば、その人たちにとって、怨みは静まる。

というのも、この世において、怨みによって怨みは決して静まらないからである。怨みのないことによつて怨みは静まる。これは永遠の真理である。

釈尊は説きます。欲望の連鎖、

怨みの連鎖を断ち切りなさいと。人間の歴史は、釈尊のこの呼びかけを、無視し続けてきた歴史といえるでしょう。

仏教は、二五〇〇年の長きにわたり、この地球上に存在してきました。これは、ひとつには仏教は何かしらの真理を教えてきたということであるかもしれません。

しかし裏を返せば、二五〇〇年も前に釈尊その人が取り組んだ問題に、人々はほとんど変わりがなく今も悩みつづけているということでしょう。

どうしようもない、ただ立ち尽くすしかないような状況の中で、悩み苦しんでいる人に対して、僧侶である私は何を語りかけることができるのでしょうか——仏教には本当に意味があるのでしょ

※

かつて、先の『ダンマ・パダ』の詩句が、国際政治の場面で引用されたことがあります。それは第二次世界大戦後の一九五一（昭和二六）年、サンフランシスコでの対日平和条約の締結と調印のため

の会議における、セイロン（現スリランカ）政府代表の発言においてです。彼は言いました。「我々は幸いにも侵略は受けませんでした、空襲によって引き起された損害や、我国の主要産物のひとつである天然ゴムの枯渴的樹液採取によって生じた損害は、損害賠償を要求する資格を我国に与えるものであります」と。しかし彼は次のように続けます。「我国はそうしようとは思いません。我々は釈尊の言葉を信じていますから」と。そして「怨みは怨みによつては止まず」という釈尊の言葉を引用したのです。

歴史の中のこの場面だけを切り取ってそれを美化しすぎること、それこそ仏教者の傲慢となるでしょう。しかし、それでもやはりこの歴史的な出来事は、私に大きな驚きと、喜びと、そして勇氣を与えてくれるものでした。仏教は、善と悪の二元論や、エゴとエゴとの対立や、怨み、憎しみ、悲しみ、絶望、その他すべての困難を乗り越えていくことができる道を示していてくれると。それが具体的にはどういうことなのか、まだ私にはうまく表現することができません。しかし、私は信じています——仏教には意味があると・・・。

か、まだ私にはうまく表現することができません。しかし、私は信じています——仏教には意味があると・・・。

【（東京） 親鸞仏教センター 研究員 文博】

【参考文献】

本稿は左記の本から大きな示唆を得ました。

※『百年の愚行』Think the Earth Project

※イバン・イリイチ『生きる意味

——「システム」「責任」「生命」への批判』デイヴィッド・ケイリー編 高島和哉訳、藤原書店、二〇〇五年

※セヴァン・カリス・スズキ『あなたが世界を変える日——十二歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』ナマケモノ倶楽部（翻訳）、学陽書房

また、『ダンマ・パダ』の翻訳

はいくつかありますが、最も手軽

で普及しているものに

※中村元（訳）『ブツダの真理の

ことば・感興のことば』岩波文庫があります。

いずれも今でも手に入る良書です

のでご一読をお勧めいたします。

ほうおう 鳳凰は中国の伝説上の鳥（瑞鳥）。鳳は雄、凰は雌を指し、羽ある生物の王であるとされる。古くは風をつかさどるとされ

鳳凰という鳥？

ほうおう

鳳凰は中国の伝説上の鳥（瑞鳥）。鳳は雄、凰は雌を指し、羽ある生物の王であるとされる。古くは風をつかさどるとされ

たが、後には五行説の流行により、四神のひとつ朱雀と同一視される、その容姿は前は鴻、後は

麟、額は燕、頸は蛇、尾は魚、額は鶴、頸は鴛、竜の模様を持ち、

背は亀、羽は五色絢爛な色なみで、声は五音を発するとされると

される。孔雀に似ている。竹の実を食物と、梧桐の林のみに住み、

竹の実以外は口にせず、決して殺生をしない。

君子と民の心が通い合った徳の高い治世か、乱世が治まった世を

象徴祝福するように東方より飛来する瑞鳥のひとつで、鳳凰の飛ぶ

時は風が止み、他の鳥虫の鳴き声もびたりとやむと言われている。

礼記では麒麟・亀・竜とともに四霊と総称されている。

日本においても古代より鳳凰伝説があり日本書紀にも「聖王世に

出て天下治まる時、天これに応じ、その瑞祥を示す」として鳳凰、麒麟、白い雉等が出現するとしている。

天皇が儀式のときに座る椅子の上に、鳳と凰が向かい合わせでいます。鳳凰は本来天皇ご夫妻を表していると言われている。また着物の柄の中でも『鳳凰柄』としても多くもちいられている。

二〇〇四年からの発行の新一万円札の裏面を飾っているのは宇治平等院の鳳凰堂の鳳凰である。



真宗寺院の装飾にも、鳳凰の姿は、多く見る事ができます。

もしかして、仏

壇にも有るかも

知れませんか？

上の写真は、

当浄信寺の本堂

内の鳳凰の彫り

物です。

どこに有るの

でしょうか？